

令和 7 年度 LM0 南観音 事業報告書

1 令和 7 年度の目標に対する事業実施の成果

- ・お祭りを通じて地域住民の心身のリフレッシュを図ることができ、地域住民の交流が活発に行われ、伝統文化の継承という目的を十分に達成できた。
- ・熱中症や事故などのトラブルは一切なく、安全に取り組むことができた。
- ・子どもたちに日本の伝統的な踊りや地域の文化を体験してもらう機会を提供でき、地域への愛着を育むことができた。地域の夏の風物行事として今後も継続していきたいと考えている。

2 ひろしま LM0 運営助成金を活用した事業

1 事業名	盆踊り、みちびき地蔵祭り	(6) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 8 月 23 日	
(2) 実施場所	南観音学区全域	
(3) 参加者数	1,500 人	
(4) 主催団体	団体名 各町内会、みちびき地蔵まつり実行委員会	
4 取組内容		
各町内会及びみちびき地蔵祭り実行委員会が南観音学区の伝統行事である「盆踊り」や「みちびき地蔵祭り」を行った。この行事は地域全体ににぎわいをもたらし、地域住民のコミュニケーションの場となっていた。LM0 南観音としても、当該イベントが持続可能なものとなるよう、支援を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域住民のコミュニケーションの場として、当該事業が持続的・継続的に実施できるよう支援を行い、自身が住んでいる地域のことを考える貴重な機会を守っていくことを目的とした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	地域行事の継承活動により、団体内の交流、活性化を促し、こども達の健やかな成長に寄与するとともに、多世代における地域住民の交流につながった。	

令和 7 年度 LMO 南観音 事業報告書

1 令和 7 年度の目標に対する事業実施の成果

- ・スポーツを通じた世代間交流が活発に行われ、地域の一体感を高めることができた。
- ・怪我やトラブルなどもなく、安全にイベントを完遂することができた。
- ・運動の楽しさを実感してもらう機会を提供することにより、スポーツを通じて健康でつながりのある地域づくりを行うことができた。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	ひろスタサマーフェスティバル	(6) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 9 月 13 日	
(2) 実施場所	Balcom BMW 広島総合グラウンド	
(3) 参加者数	2,000 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO 南観音	
4 取組内容	南観音学区内の小学生から大人までが、スポーツを通じて交流し、ダンス・和太鼓などの発表を行った。南観音学区を代表する行事として、今年も多くの人に参加してくださった。LMO 南観音として、当該イベントがより発展的なものとなるよう開催の支援をした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	南観音学区を代表するイベントとして認識されており、多世代が交流できるイベントとなることを目的とした。地域住民にとっては、日頃の練習の成果を発表できる機会にもなった。当該イベントをより発展・充実させることで、地域のさらなる活性化につながることを目的とし実施した。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	地域行事の継承活動により、団体間の交流・活性化を促し、こども達の健やかな成長に寄与するとともに、多世代における地域住民の交流につながった。	

令和7年度 LMO 南観音 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・今年も大勢の参加者が集まり、イベントや行事を通じ地域住民の絆を深めることができた。
- ・若い世代への伝統文化の継承という目的を十分に達成できた。
- ・事故やトラブルなどもなく、安全に秋祭りを終えることができた。
- ・地域住民のお祭りに対する期待と愛着が改めて確認でき、より多くの世代が参加しやすいお祭りとして引き続き継続し、発展させていきたいと考えている。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	秋まつり	(6) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月18日 ~ 令和7年10月19日	
(2) 実施場所	黄魂彦神社	
(3) 参加者数	1,000 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO 南観音	
4 取組内容	地元の神社に、こどもから大人まで健康で過ごせるようお参りするなど、学区の大きな行事として今年も開催した。前夜祭では、豊平神楽を招いた。当日祭では、歌手の南一誠を招いたイベントを開催した。誠に残念ながら、御神輿を担いで町を練り歩く行事である、子ども神輿と大人神輿は、悪天候により実施できなかった。しかし、少しでも町内住民同士の交流になればと、用意していたお弁当や参加賞などは手渡しで配布を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	伝統の継承および子どもから大人まで楽しむことのできるお祭りにすることで、地域住民の交流を目的とした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	前夜祭には毎年神楽を奉納しているが、今年も神社の敷地に入りきれないくらいの大勢の方が参加され、楽しい憩いのひと時を過ごされた。そこで気持ちを新たにされ、生きがいを感じることで、地元に対する郷土意識の高揚が図られたと感じた。	

令和 7 年度 LMO 南観音 事業報告書

1 令和 7 年度の目標に対する事業実施の成果

- ・怪我などもなく、安全に大会を終えることができた。
- ・地域住民の健康意識の向上と、世代を超えた交流を深めることができた。今回の大会を通じて、より多くの地域住民に継続して参加したいと思ってもらえるイベントとして発展させていきたいと考えている。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	ウォーキング大会	(6) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 12 月 7 日	
(2) 実施場所	南観音公民館、Balcom BMW 広島総合グラウンド	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO 南観音	
4 取組内容	太田川河川敷から南観音公民館をウォーキングのコース（約 2 km）とし、道中、重さ当てクイズなどを楽しみながら、南観音学区内の子どもから大人までが、親睦と健康づくりを目的に取り組んだ。 その他、参加者には参加賞や重さ当てクイズなどの賞品授与を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	特技など必要なく、平素鍛えている筋力（足）で気軽に参加することができ、健康を生きがいとして楽しい人生を送ることを目的とした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	大勢の方々（約 500 人）が参加され、地域住民の交流の場になった。	

令和7年度 LMO 南観音 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・伝統行事を通じて地域の絆が深まり、子どもたちに日本の文化を伝える良い機会となった。
- ・火災や怪我といった事故なども一切無く、安全に終えることができた。
- ・今回のとんど祭りを通じて地域住民の伝統文化に対する関心を高めることができた。今後も規模を維持しながら、より多くの世代が参加しやすいイベントとして発展させ、持続可能な地域行事として継続していきたいと考えている。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	とんど祭り	(6) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 月 11 日	
(2) 実施場所	南観音小学校グラウンド	
(3) 参加者数	1,000 人	
(4) 主催団体	団体名 各町内会	
4 取組内容		
南観音小学校グラウンド、および観音新町にて、各町内会が開催した。南観音小学校グラウンドで開催する「とんど」は市内最大級で、雪の降る天候ではあったが、今年も多く参加があった。南観音小学校からも書初めを集めるほか、合唱部、ブラスバンドの出演など小学校とも連携を図った。最後は「とんど」の火でお餅を焼き、ぜんざいを食べ、交通安全や家内安全、無病息災を願う大事な行事として、今年も開催できた。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	文化の継承、親族、一年間無病息災を願う行事の開催を支援することで、地域住民の交流促進を目的とした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	新年を迎える心構えとして、地域の人々が集まり、一緒に火を囲むことにより親睦を深める場としても効果があった。また、会場設営などを通じて、地域の若手や担い手の確保につながる交流ができた。	

令和 7 年度 LMO 南観音 事業報告書

1 令和 7 年度の目標に対する事業実施の成果

小学校の休み期間に開催しようと考えていたが、話し合いがまとまらず、残念ながら、今年度は一度も開催に至ることができず、結果的には事業展開が未達となった。
地域の子どもたちの学習支援は長期的な地域課題であることから、来年度では事業を展開し、安定した運営を目指して取り組みたいと考えている。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	拠点を活用した学習支援（宿題ひろば）	(6) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 8 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	広島市西区南観音六丁目 8 番 6 号	
(3) 参加者数	0 人	
(4) 主催団体	団体名 LMO 南観音	
4 取組内容	小学校の休み期間（夏休み・冬休み・春休み）に、南観音会館の一室を利用して子どもたちが集い、宿題を行う場所を提供したいと考えていた。（週 2 回、各回 10 名程度。監督者は LMO の事務員を想定していた。） また、LMO の活動を親御さんにも知ってもらうため、各休みの最終回には参加する子どもたちの親世代も交えてのレクリエーションを実施したいと考えていた。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(1) 目的	地域から若い世代の取組みが乏しいとの声が上がっていた。そのため、子どもたちの休み期間中の居場所を提供することで、子どもたちが LMO の活動を知り、そして、参加する子どもたちの親世代も巻き込むことで将来的な担い手の確保につなげることを目的とした。また、同時に子どもたちの休み期間中の居場所を提供することで交流の場を生み出すことにも繋がると考えたため。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）		